

ご挨拶

関西大学探検部部長

関西大学工学部教授

川 手 昭 平

関西大学探検部のボート部門は、これまで国内外の激流航下や大陸の河川の縦断航行などを敢行して成功をおさめてきました。

今回は、中国・新疆ウイグル自治区の中央部に、世界第二位の面積を持って大きく広がるタクラマカン砂漠の北部に天山山脈やクンルン山脈の雪解け水を集めて東に向かって流れる大河、タリム川が一部のワジを除いて全長1680kmにわたってカヌー航行の可能性を知り、砂漠をカヌーで縦断するという、かつて例をみない計画に取り組みました。日中40度を超える炎熱、内陸河川特有の複雑で、なおかつ地図に正確にはのっていない川筋、水深の判断を拒む濁流、水流の変動、そして単調で精神的忍耐を要求する行程、さらに、流水が砂漠に消えてワジとなる焦熱地獄・・・多くの未知困難な問題への挑戦でありました。

幸いにも天候にも恵まれ、現地の人々の温かい協力も得て、かの偉大な探検家、スウェン・ヘディンも行程半ばで断念したといわれるこの砂漠縦断航行に、おそらく世界で初めて成功することができました。また、この壮挙は関西大学探検部の歴史に新たな1ページを加えることになるでしょう。

さらに、同行中国隊員は勿論、現地ウイグル人との交流は日中友好の一助にもなったことと信じております。

この度のカヌー航行遠征隊の派遣に当たりましては、学内外の方々から、物心両面にわたって絶大なるご援助、ご後援を頂いたことを心から厚くお礼申し上げます。